

生活

無聊という幸せ

人間は進化し知恵が付くようになってから悩みが多くなったといわれる。しかも幸か不幸か人はこの世に登場して以来寝ること食べる以外にも欲を持ち、それを拡大し続けてきた。欲は大から小まで人さまざまであるが、身の丈以上に望みを膨らませた時、そこには陥穽が待っている。人間が一日に食べる量は限られ、三度の食事が出来ればよいはずなのだが、その単純なことが守られず納得もしない。